

# 特集

パーキング業界の明日 ⑥⑧

『自転車・バイク・自動車駐車場

パーキングプレス』誌 発行人・森井博が聞く

ゲスト 東京都・中央区長 矢田美英 氏

中央区役所

中央区が取り組む交通政策

## シェアサイクルからBRTまで “新時代交通”が重要な役割を担う

東京都・中央区長  
矢田美英

『自転車・バイク・自動車駐車場  
パーキングプレス』誌 発行人  
森井博

【プロフィール】 1940年中央区新富町生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業、米国ミズーリ州立大学ジャーナリズム学科卒業。共同通信社国際局海外部、編集局政治部勤務。1987年3月首相官邸記者クラブのキャップを最後に退社。同年4月中央区長選に初当選。以来、今日まで区長を務めている

東京都心の複数の区で、社会実験としてシェアサイクルの運用が始まっている。徐々に認知度を高めている中、2015年10月1日、満を持して「中央区コミュニティサイクル」がスタートした。東京はもとより、日本を代表する商業施設や観光スポット、ビジネス拠点が集まる中央区だけに、このシェアサイクルが担う役割は極めて大きい。今回はそのキーパーソンとなる中央区長・矢田美英氏を訪ねた。(2015年11月12日収録)

## ポート増設と偏りのない配置が中央区コミュニティサイクル成功のカギを握る

**森井** 業界の大きな期待を背負ってスタートした中央区コミュニティサイクルが稼働してからはほぼ1ヵ月が経ちました。改めて導入の狙いから教えていただけますか。  
**矢田** 自動車から自転車への転換、放置自転車の減少、さらには区民や事業者の移動の利便性向上などが主な目的です。また、ご存じのとおり中央区内には東京、ひいては日本を代表するショッピングエリアやグルメスポットが集中する銀座や日本橋、築地、人形町、月島、晴海、佃もあり、国内外から多くの観光客も訪れますので、名所巡りの移動手段としても使っていただければと考えています。  
**森井** ポート数は全部で18ヵ所、電動アシスト付自転車200台の規模から始められています。ポートの場所が区内全域にまんべんなく配置されており、非常に使い勝手の良いシェアサイクルであると

いう印象を持ちました。

**矢田** 中央区は都心の中の都心であり、ポートのスペース確保は簡単ではありませんでした。しかし、さらに利便性を向上させるにはもっと努力しなくてははいけません。担当部署では現在もポート用地の確保のために開拓を続けております。ポートは多ければ多いほど良いですし、なおかつ地域的な偏りを少なくできれば、利用率の向上に期待できますからね。特に公共交通機関の駅や商業施設、観光スポットの近くなど手軽に利用しやすい場所への設置が必要です。料金は、区内の駐輪場の料金や電車、バスなどの運賃も考慮し、なおかつ近隣区との広域相互利用も見据えた設定にしました。料金体系は法人、個人向けの2種類があり、個人向けでは月額会員、1日会員、1日パス、法人向けでも月額会員、定額会員などいろいろな選択肢を用意しましたが、今後は利用者の声を集め、より使っていただきやすい料金体系の検討も必要だと考えています。  
**森井** 現時点での会員数は何名になっていますか。

**矢田** 901人(10月末現在)です。中央区は高低差は約5メートルとかなりフラットな土地なので、従来から自転車が使しやすい場所なのですが、それでも、やはり電動アシスト付自転車は評判が良いですね。特に隅田川にかかる大きな橋は傾斜しているところが多いので、そのような場所を走る場合には非常に助かります、という声をいただいています。今後も広報活動やイベントなどを通じてさらに認知度を高めて、もっと多くの方に

利用していただけるように努め、早く広域利用していただけるように取り組んで参ります。

## 「4区相互乗り入れ」実現で消費、観光、ビジネスのさらなる活性化に期待

**森井** 広域といえば、料金体系のご説明でも少し触れられていた「近隣区との広域相互利用」が現在、業界の大きな話題を集めています。2015年3月3日、都内で先駆的にシェアサイクルを導入、実証実験に取り組む中央区をはじめとした、港、千代田、江東の4区が「自転車シェアリング事業における相互協力に関する基本協定」を締結されました。中央区は文字通り4区の中央にあり、大変大きな役割を担うものと期待しています。

**矢田** 本区は東京の中心地として、産業、経済をはじめ文化・情報の中枢など多様な都市機能が集積しています。実際、事業所数は都内の自治体では第1位の3万7,333箇所を数えます。また、先ほど申し上げた通り、銀座、日本橋など多くの観光地も抱えています。それだけにコミュニティサイクルの4区相互乗り入れが実現すれば、本区と隣接区の移動の利便性は飛躍的に向上し、観光、ビジネスなどのさらなる活性化に期待できます。

**森井** ちなみに海外主要都市で実施されているシェアサイクルは規模が大きく、例えば、パリは約24,000台、ロンドンは約8,000台、ニューヨークは約6,000台、台北は約5,000台…といった具合で規模は日本の10倍以上におよびます。日本がこのレベルに近づくための第一歩としても、4区の相互協力は大きな意味を持つと思います。

**矢田** 私は以前に視察したデンマーク・コペンハーゲンで自転車走行環境の整備を目の当たりにして、その先進性に驚いた経験があります。あのような環境をつくっていくためにも4区広域化の実現に向けて努力していかなくてはなりません。



中央区コミュニティサイクル。中央区役所、京橋図書館、桜の散歩道(晴海トリトンスクエア前)、NTT東日本築地ビルなど区内18ヵ所においてポートを設置している(中央区提供)

さらに4区の相互協力を足掛かりにして、都内の自治体全域に相互利用の輪を広げ、自転車共有による新しい自転車文化を定着させていきたいと考えています。

## 区内の大規模再開発に 地域貢献として 駐輪場整備を要請

**森井** 「自転車文化」というのは素晴らしいスローガンだと思います。そもそも中央区は3年前、平成24年の段階で「中央区自転車利用のあり方」を策定されていた自転車先進区のひとつなのですよ。

**矢田** 自転車は子どもから高齢者まで、だれもが手軽に使える身近な交通手段ですし、私自身も学生時代、自宅のある中央区から江の島まで往復100km超のサイクリングを楽しむほどの自転車好きでした。

**森井** 1日100km超とはかなりの愛好家だったのですね。

**矢田** 高校生の頃だったのでしょうか。当然ですが、当時は体力がありましたか

らね。翻って現在、本区は都心で環境に大きな負荷をかけていることもあり、エコロジー、区民の健康増進の点からも自転車利用を大いに促進する必要があると考えています。そうしたことから、中央区が目指す将来像を「安全・安心・快適な自転車利用によるエコシティ中央の実現」とし、将来像実現のため「走行空間の確保」「駐輪対策の充実」「共同利用の促進」「安全な利用の促進」の4つの基本方針を設定し、施策を進めております。

**森井** 「走行空間の確保」といえば、金沢市では注目に値する試みがあり、それが上手く機能しています。市街地の幅員6m程度の生活道路の左右に「自転車優先走行指導帯」という自転車と歩行者が兼用で使えるゾーンを色分けしてつくりまして、自動車と自転車、歩行者が見事に幅6mの決して広くない道路をシェアしているのです。中央区でも、例えば日本橋などではそうした狭い道路がありますから、金沢市の取り組みは参考になるかもしれないですね。

**矢田** なるほど、それはおもしろいですね。目下のところ、本区での自転車走行空間確保は、ビジネス拠点、観光スポット、商業施設が集積していることや、既存交通、バス路線、荷捌き車両などへの対応などから車道上に設置することが難しいため、これまでは昭和通りや新大橋通り、清澄通りなどの幅員の広い歩道において、視覚的分離による自転車歩行者道の整備を進めて参りました。

**森井** なるほど。確かにあの大通りの歩道は幅員にかなりの余裕がありますからね。実際の道路環境に応じた施策ということですね。

**矢田** 今年の4月、東京都は2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに選手村から半径8km圏内において銀座や日本橋などにつながる「自転車推奨ルート」をつくり、自転車走行環境の整備を積極的に進める考えを示しています。中央区としては、今後、都、警察とも連携し、自転車走行空間の整備を確実に進めていくつもりです。また、それに合わ

## 伝統、食、自然…見どころの豊富な中央区

見ればすぐにそれと分かる有名スポットが集まる。中央区コミュニティサイクルも各地を巡る時には大いに役立つはず(中央区提供)



①日本橋は平成11年に使用されている道路橋として初の重要文化財に指定された ②佃のリバーシティ21 ③下町情緒が色濃く残る人形町 ④築地場外市場は現在の場所で「築地魚河岸(つきじうおがし)」として存続することが決定している ⑤東京の代表的な夜景スポット、東京港晴海埠頭 ⑥江戸時代の大名庭園の風情を残す浜離宮恩賜庭園

せてその他の区道においても車道での自転車ナビマークの設置などさまざまな手法で自転車走行空間の整備、拡充を図っていく方針です。

**森井** 「駐輪対策の充実」についてはどのような施策を進めているのですか。

**矢田** 区内の地下鉄駅周辺に19カ所、計約4,300台の区立駐輪場を設置しています。また、近年問題視されている東京駅周辺の放置自転車対策として、今年3月から駅周辺の幅員の広い歩道上に民設民営の一時利用駐車場を9カ所、計361台分整備しました。

**森井** 東京駅周辺はここ2～3年、駅前の放置自転車問題が深刻化していました。八重洲口に面する中央区がいち早く対策に乗り出しているのは高く評価されるべきだと思います。

**矢田** 近い将来、中央区では特に晴海、勝どき、月島の一部で大規模なマンションが続々と建てられる計画が進んでおり、東京駅八重洲口や銀座界隈には、今以上に自転車で訪れる方が増えることが予想されます。そこで、区内の大規模複合再開発プロジェクトには地域貢献として事業地内に駐輪場の整備を要請しているのです。

**森井** 近未来も見据えた施策は素晴らしいですね。具体的な規模は決まっていますか。

**矢田** 実績としては銀座三越の新館や京橋駅に直結している東京スクエアガーデンなどに369台分設置しました。今後は銀座五、六丁目、八重洲一、二丁目などの大規模再開発で計1,352台分整備される予定です。

## 独自の駐車場施策 「銀座ルール」で美しい 景観維持、交通渋滞緩和

**森井** では、今度は話題を変えて自動車の方の駐車場施策についてうかがいたと思います。多くの人が集まってくるだけに交通量が非常に多い上、都心部で用



対談は中央区役所内、区長室応接にて行った。矢田区長は生まれも育ちも新富町。生粋の中央区人である

地確保が難しいため駐車場を確保するのは大変だと思いますが…。

**矢田** おっしゃるとおり、人やモノが集積する本区では違法な路上駐車が多く、交通渋滞の要因となっているのはもとより、交通事故の原因や景観の悪化などさまざまな問題を引き起こしてきました。そこで区営駐車場の整備を積極的に進め、現在、都市計画駐車場2カ所を含む8カ所、計763台を整備しています。また、二輪駐車場については5カ所、計161台を整備しています。

**森井** なるほど。自動二輪への配慮も含めてかなりの台数が用意されているのですね。先ほど街の景観のお話がありましたが、中央区の景観といえば真っ先に銀座の街並みが思い浮かびます。その点ではいち早く独自の駐車場施策である「銀座ルール」を定め、推進しているのも中央区ならではのようです。

**矢田** ありがとうございます。銀座ルールは、銀座地区において適切に駐車施設を整備するため、この一帯の特性を考慮した地域ルール、すなわち「銀座ルール」を定め、開発事業者に対して必要な指導、協力の要請を行っているものです。このルールは、東京都駐車場条例第17条第1項第1号に基づく地域ルールの適用第一号にもなりました。

**森井** 改めて銀座ルールの内容を教えてくださいいただけますか。

**矢田** 銀座一丁目から八丁目までで、都条例において駐車場の附置義務が適用となる新築・増築等で事業区域が500㎡未満の場合、駐車施設の隔地駐車を可能としています。駐車施設がある程度集約されることで交通渋滞の発生を防ぐことに期待でき、ひいては銀座の整然とした環境の保持、訪れる人の安全確保にもつながると思います。



① 幅員の広い歩道では自転車と歩行者がスペースをシェア。写真は清澄通り



②「銀座ルール」によって世界に誇る、美しく安全な銀座の景観が維持されている（いずれも中央区提供）



## BRT、地下鉄新規路線構想… 広がる中央区の 公共交通

**森井** では、最後に中央区の近未来についておうかがいしたいと思います。中央区コミュニティサイクルは新たな公共交通として位置づけられ、拡充されていられるわけですが、未来の公共交通としてはバスの高速輸送システム・BRT (Bus Rapid Transit: バス高速輸送システム) も大きな注目を集めています。

**矢田** はい。中央区では勝どき、晴海地区における交通の不便さを解消し、新たな公共交通を開発することで、増加する臨海部の交通需要へ対応することを喫緊の課題としておりました。そこで本区では「銀座・晴海間へのBRT導入」を目指して検討を進めてきました。こうした中で、2014年8月に東京都が「都心と臨海副都心とを結ぶ公共交通に関する基本方針」を公表して、都としてBRT導入を図ることが決まりました。現在は都区が連携して取り組んでおります。

**森井** BRTは、東京では初めての導入となります。東京オリンピック・パラリンピック開催のタイミングにも重なって大きな話題になることは間違いありません。

**矢田** ちなみに今年9月には運行事業者が京成バス株式会社に決定しました。平成31年度中の運行開始を目指し、ルートや停留施設などを具体的に検討していく予定です。

**森井** 都心部から東京五輪を見に行く手段となり、五輪後は晴海、勝どきのマンション群に暮らす人々の通勤、通学の足になるわけですね。非常に楽しみです。

**矢田** 公共交通については、もうひとつ大きなプロジェクトの構想があります。東京オリンピック・パラリンピックにおいて、晴海地区には選手村が建設され、大会終了後は集合住宅に転用されて約6,000戸規模が供給される予定です。

**森井** 6,000戸！ 新たな「街」が出現するわけですね。

**矢田** はい。そうなると交通需要は当然大幅に上昇することになります。先にお話ししたBRTがニーズに応えることとなりますが、それでも不足する事態が考えられます。

**森井** そのとおりですね。

**矢田** そこで中央区とお台場、有明地区等の臨海副都心を結ぶ地下鉄新規路線の導入が必要であるとの考えをまとめ、昨年度より検討調査を開始し、平成27年度

に予定されている国の交通政策審議会の答申に位置づけられるように、国や都などの関係機関に働きかけてきました。

**森井** なるほど。で、その結果は。

**矢田** 今年7月、東京都は交通政策審議会答申に向けた検討のまとめとして、中央区が検討してきた路線を「整備について検討すべき路線」に位置づけ、交通政策審議会に提示していくことになったのです。

**森井** それは素晴らしい。やはり人口の急増が見込まれ、それだけのニーズが生まれるからこそこの話ですね。

**矢田** 都の動きを受けて中央区では本年度、次期答申において早期に整備すべき計画路線として位置づけられるよう、より詳細な調査を行い、都と連携して地下鉄の早期実現が図られるように取り組んでいく計画です。

**森井** BRT、さらには地下鉄新規路線の構想もあり、中央区では公共交通が充実の一途をたどっていくわけですね。話は戻りますが、私としては将来、その中に「中央区コミュニティサイクル」も今以上の存在感を持って稼働していて欲しいと願っています。そこでひとつ区長に提案があるのですが…。



2015年10月10日～25日まで、2012年のロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会のオリンピック・パラリンピアンを肖像を用いて大規模な装飾演出を行う「日本橋シティドレッシング」が実施された。オープニングセレモニーには矢田区長も参列(中央区提供)

矢田 何でしょう？

森井 ロンドンで2009年から始められた「ツイードラン」というイベントをご存じかと思いますが。ツイードジャケットをおしゃれに着こなして、街を自転車で楽しく走り、魅力をアピールして利用促進を図る目的で行われているものです。現在ではロンドンのほかにニューヨーク、イタリアのフィレンツェ、カナダのビクトリア、オーストラリアのシドニーなど世界の各都市で独自に開催されていて、東京でも2012年から計4回催されているのです。このようなイベントを銀座の四丁目付近を会場にして開催できないかと考えています。江戸時代からの伝統を継承する中央区で行うとなれば、ツイードジャケットではなく、やはり着物、紋付き袴や法被はっぴなど和服を着用して自転車を走らせるというのも面白いかもしれません。もちろん、実現した暁には区長に自転車の集団を先導していただきたいです。

矢田 中央区コミュニティサイクルのPRにもなるし、より一層の中央区の活性化につながりそうですね。また、私が

そのイベントの先頭に立てば、中央区が実現を目指している「70歳就労社会」の格好のアピールになりそうです。

森井 70歳就労社会というのは？

矢田 働く意欲を持っている高齢の方が、培った知識や経験を生かせる就労環境の整備を推進するため、高齢者雇用を積極的に行い、一定の条件を満たした事業主に対して高齢者雇用促進奨励金を交付しているのです。

森井 大変優れた制度ですね。実は私が会長を務めるサイカパーキング株式会社の本社ビルは日本橋小網町にありまして、高齢者雇用に積極的に取り組んでいる企業であると自負しています。駐輪場の管理をお願いしているスタッフのほとんどが高齢の方で、当社の平均年齢は68歳、社員数は約2,500人です。ちなみに定年は75歳となっています。

矢田 それは素晴らしい。あるいは80歳ぐらいまで延ばしてもいいのではないのでしょうか。体力、気力があれば、75歳でも80歳でも働いて、高齢者が輝けるよ



うな街づくりをしていきたいですね。  
森井 当社も中央区のために頑張りたいと思います。本日は稼働したばかりの中央区コミュニティサイクルから、東京オリンピック・パラリンピック、近未来の公共交通に至るまで幅広い項目についてお話しいただき、非常に充実した対談となりました。誠にありがとうございました。 PP

【パーキングプレス 発行人】森井 博のプロフィール

- 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会 理事長
- 一般社団法人 自転車駐車場工業会 会長
- 一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事
- 東京八重洲ライオンズクラブ 会員
- 六本木男性合唱団 団員
- サイカパーキング(株)、日本駐車場救急サービス(株)、モーリスコーポレーション(株) 夫々代表取締役CEO

【略歴】 1938年(昭和13年)宮崎県延岡市生れ77才。  
1957年(昭和32年)石川県立金沢泉ヶ丘高校卒  
1961年(昭和36年)東京商船大学(現東京海洋大学)卒  
1961~1979年 石川島播磨重工業(現:IHI)  
1979~1991年 東芝  
1991年~ 現職

【趣味】 ゴルフ・ドライブ・歌・テニス・野球

【遍歴】 水泳(小学生になる前から泳ぎ、中学校では石川県大会で後にオリンピックに出た選手より速かった)、野球(中学生までは本気でプロ野球選手になるつもりであった。元西鉄ライオンズ 故・鉄腕 稲尾和久投手、完全試合男 田中勉投手、元巨人 淡河弘捕手は友人。原辰徳監督の父 故・貢氏からはボクサー犬を貰った仲。少年野球コーチ6年間)、陸上競技(短距離、やり投げ、インターハイ2回出場)、テニス(元デ杯選手本井満氏のコーチでかなりの腕前になるも、45才時アキレス腱断裂で引退)、ゴルフ(熱心に勉強するも、なかなかシングルにはなれない。これをヘタの横好きという)

過去の対談ゲストの方は、WEBでご紹介しています

パーキングプレス 対談 で検索

または <http://www.parkingpress.jp/taidan/> にアクセス

対談記事のバックナンバーもご覧いただけます。

